

初のチャレンジ!

「少年野球×国際貢献プロジェクト」

—ヒット1本でワクチン1回分の寄付—

調布市少年野球連盟では、2019年5月12日(日)に開幕する「夏季大会」で「ヒット1本につき途上国の子供にワクチン1回分の寄付」という国際貢献を行います。選手が打ったヒット数と同じ回数分のワクチンを購入する費用を、同連盟が途上国向け支援団体(ユニセフ日本)に寄付する活動です。

この「少年野球×国際貢献プロジェクト」によって、選手自身が、野球を通じて、国際社会に貢献できることを認識し、また、その気持ちを醸成していくことを目的としています。社会への支援の心を育み、社会の一員として「人の役に立てた」、という自信と肯定感を感じる機会を与えたいと考えています。

さらには、この活動で、市民に野球を知る機会や野球をする楽しさを伝え、野球の普及や野球の人口増加のきっかけづくりとなることを願っています。

これらの目的は、調布市少年野球連盟の目標である「(年少女の)健全な育成並びに相互の親睦を図ることと社会福祉に対する理解を深める」や、「2020年に向けた調布市の取組方針」である「スポーツや文化が平和な社会の実現と持続可能な社会づくりに貢献できることを理解し、主体的に社会貢献する力を育成」することに合致するものです。

この活動については、調布市への直接的な広報活動を行う予定であり、少年野球への関心を引き起こす契機となれば、と考えています。

実際の運用は次のとおりです。

- (1)「夏季大会」の開会式で、選手に「ヒット1本で途上国の子供へのワクチン1回分の寄付を行う」ことについて説明をします。
- (2)各チームは、各試合終了後に、自チームのヒット数を大会運営本部に報告します。
- (3)夏季大会終了時に調布市少年野球連盟は総合計ヒット数を集計し、その数に応じたワクチンの回数分の額(ポリオワクチンを想定しており、1回分の額を20円とする)を算出します。
- (4)また、夏季大会期間中は、大会運営本部に「募金箱」を設置し、皆さまのご理解とご協力をいただきながら、寄付も募る予定です。
- (5)閉会式では、寄付予定金額の報告を行い、目録を贈呈します。

以上